



おくに議会だより

第30号

平成30年2月10日

表紙の写真＜湧蓋山の樹氷＞

発行 小国町議会

編集 広報特別委員会

〒869-2592

熊本県阿蘇郡小国町宮原 1567-1

TEL. 0967-46-2119

○平成29年 第4回定例会
○町政を問う(一般質問)

平成29年第4回定例会 平成29年12月7日～12日

平成29年第4回定例会が開催され、条例改正等4本、平成29年度の一般会計補正予算、国民健康保険特別会計補正予算、介護保険特別会計補正予算が可決されました。



人権擁護委員に
推薦された
北里康二さん

また、人事案件の「人権擁護委員の推薦について」は北里康二さん（北里）が適任であると採決されました。

定例会の最後には、議員発議として国に対し「道路事業予算の総額確保等に関する意見

書(案)」が上程され、全会一致で可決されました。



第4回定例会(開会)

条例の改正

○職員の育児休業等に関する条例の一部改正

…非常勤職員の育児休業について特別な理由がある場合、最長2年延長

○個人情報保護条例の一部改正

…「要配慮個人情報」の取り扱いに関する規定の整備

○鍋ヶ滝公園の設置及び管理に関する条例の一部改正

…入園料金を大人200円を300円に、小学・中学生100円を150円（交通渋滞緩和対策の財源確保と施設の維持管理等に使用）

○阿蘇広域行政事務組合同規約の共同処理する事務の変更及び規約の変更

…ふるさと市町村圏計画関係の事務の削除



鍋ヶ滝公園入口

補正予算

○一般会計・・・1億3,340万円の増額

(内訳:積立金1億1,600万円、出生祝金120万円、農業振興費540万円、畜産費200万円、循環型農業推進費6,100万円、観光費250万円、道路維持費700万円、住宅管理費200万円、災害対策費300万円他)

○国保特別会計・・・1,000万円の増額

(内訳:一般被保険者高額療養費1,000万円)

○介護特別会計・・・1,455万円の増額

(内訳:保険給付費他1,455万円)

採決結果一覧表

	議案番号	事件名	採決結果	穴井	大塚	北里	高村	児玉	時松	穴見	松崎	熊谷	時松	松本	
				帝史	英博	勝義	祝次	智博	唯一	まち子	俊一	博行	昭弘	明雄	
12月定例会(12月7日～12日)	議案第51号	小国町職員の育児休業等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第52号	小国町個人情報保護条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第53号	小国町鍋ヶ滝公園の設置及び管理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第55号	阿蘇広域行政事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第56号	平成29年度小国町一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第57号	平成29年度小国町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第58号	平成29年度小国町介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	適任	賛成 9 反対 2											
	発議第7号	道路事業予算の総額確保等に関する意見書(案)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



大観望道路整備と地域防災 マネージャーと住宅問題

松本 明雄



人権問題への意識向上

熊谷 博行

閩地震による57号線の不通により大津〜二重峠までのミルクロード改良工事が行われている。以前にもこの道路の霧対策について質問したが、中々改善

出来ていないが二重峠下にトンネルが出来れば改善出来ると期待している。そこで大観望のカーブを減らし除雪対策も含めて考えれば、阿蘇市までの時間が短縮出来、更に利便性が上がると考えるが、国や県に対し南小国町や阿蘇市と要望を出す考えは。

【建設課長】昨年の災害では212号線、ミルクロード、387号線が通行止めとなり行き場のない状況にもなった。一本の道路が駄目でも二本目、三本目とルートが確保出来る様ダブルネットワーク化をトンネルも含め要望して進めている状況だ。大観望の道路整備も重ねて要望して行く。

閩国からの予算も付けられ、熊本県下でも約半分の町村が常

勤・非常勤として雇用している地域防災マネージャー（防災に關して専門的な知識をもつ者）を検討したらどうか。

【町長】今後、検討して行きたい。

閩関田住宅と柏田住宅の大規模改修を行う中で、入居者の高齢化に対応する為、エレベーター設置の考えは。

【建設課長】構造上、難しいところもあり補助的なものにするのか別に考える必要がある。



関田住宅

閩学校給食の完食指導の行き過ぎで、嘔吐をしたという記事が掲載された。毎年給食残渣は増えているが、どの様な指導を行っているのか。

【教育長】この事例における指導の行き過ぎはあつてはならない。小国では先生方が平日頃から児童・生徒に寄り添った教育を実践している。

閩部落差別解消推進法が施行され12月16日で一年になる。行政は新しい法律にどの様に対処してきたのか。

【町長】特別に新しいことをやるということではなく、いままで行った部分を多少工夫しながら、継続的に進めてきた。

閩年に数回の講演会や人権フェスティバル等を実施しているが、どのイベントに参加しても参加者は同じ顔ぶれで、行政関係者ばかりだ。この傾向は年々増大しているが打開策は。

【町長】今後は、興味を持つという部分を来年度以降、より多く

の町民に広報の仕方や、意識付け、そういった部分を努力していく。

閩先日、中学校の修学旅行が行われたが、保護者へ行き先を尋ねると閩西方面とのことだった。神社仏閣と思いきや水平社博物館へ行く聞き、旅行に行つても人権の勉強が必要か問う。

【教育長】中学校のほうを中心に『小国学』、中で人権教育を学んでいる。閩西方面へ行くという事で、西光寺を見学し、隣接する水平社博物館で人権・同和の話の聞くと聞いている。



ランチルーム



総合型地域スポーツの推進体制は

松崎 俊一

【町長】小国町社会福祉協議会は発足当初役員内に事務局があり、町職員が意向していた時期もあった。総合型地域スポーツクラブは、社協の育成段階と比較して組織の育成、推進体制などの整備は出来ているのか。住民の付託に応えられる組織となっているのか。また、クラブの職員の社会保障面の整備は行われているのか。

【教育長】いろいろな種目、さまざまな世代に対応するという点で課題が残り、組織の育成、推進体制も充分とは言えない。教育委員会としての参画も大切と考える。職員の社会保障など労働条件の整備についても今後も話し合いを進めたい。

【町長】未来を担う子供たちのために、真剣に考えてもらいたい。地域の皆さんや児童生徒、教職員にいたるまで利用しやすい、相談しやすいクラブとなるよう、部活動の移行期という大切な時期に、今こそ真剣に向き合っ

てもらわなければならない。以前、体育協会に相談する旨の答弁があったがその結果はどうなのか、県内や全国の他町村で体協が行っている事例はあるのか。

【教育長】県内外で、体協と総合型地域スポーツクラブの連携している例は少ない。魅力あるクラブを目指すためにも、現状の課題を重く受け止めて行政とクラブや諸団体との話し合いを呼びかけて課題解決に取り組んでいく必要がある。



トランポリンの様子



水道水源地調査と北里川 水害対策について

北里 勝義

【町長】水道事業のなかで安定した水の供給を図る為、新しい水源調査を計画しているが、調査の時期、その内容や方針等が決まっているか。またもう一つの課題として水道事業の統合問題がある。新たな水源の活用や受益戸数や料金の検討など統合に向けた水道基本構想策定の検討を。

【建設課長】具体的な計画はこれからだ。水量・水質・受益調査等が検討課題になると思う。また、新水源を活用したランニングコスト削減等を検討したい。

【町長】統合は基本的な考え方であり、地域説明会などを行っている。また統合に向けた水道基本構想も必要と考えるが、上下水道事業運営審議会等の意見を聞きながら段階的に考えていく。

【建設課長】平成17年大水害を踏まえて、北里川水害対策として河川公園の一部を活用して、局地的な出水等に備える洪水調整地機能を持たせた親水地整備の検討を。



北里川と河川公園

まえ、県においてはスリットダムの整備や堆積土砂の除去等の災害対策事業を実施している。

【町長】北里川は過去において甚大な被害が及んだところであり、防災は考えなければいけない。河川公園は湧水対策が必要などころもあり、町の考え方をまとめながら県との協議を検討したい。



小国町町有林と環境モデル 都市関連事業について 時松 唯一



災害の検証と課題は

大塚 英博

町有林の現状と環境モデル都市のバイオ発電等への活用状況を問う。

【総務課長】409ヘクタールの町有林を、森林経営計画に則り森林組合と協議の上、下刈り・間伐・主伐など補助金等を利用し赤字の出ないような経営を行っている。

問 天然林の範囲と地区を問う。

【総務課長】天然林化したクヌギ山が麻生釣、山側の涌蓋山寄りを中心に8ヘクタールほどある。

問 製材業の現状として、その数及び町内から他県に出ている製材の数量、価格を問う。

【産業課長】数字が手元になく今は回答できない。

【町長】製材業、製材所の数はここ数年減少してきている。町内の伐採、間伐の状況から、小国市場以外に出ている部分もゼロではない。10年前から現在も変化はあまりないと認識している。

問 循環型農林タウン構想で電力も賄えると謳う中、平成28年1月、町は地熱発電に開発規定を

設ける条例を施行、「発電事業者は町長の同意が必要である」という内容について、条例・法律・審議会等をクリアしても最終的に町長の承諾がなければ事業着手できないという解釈でよいのか。

【政策課長】条例上、事業計画が上がってきた場合には、町長はその審議会に計画の内容の妥当性を諮問し、その答申を受け町長が同意するという形になっている。

問 上田牧野組合では中山間道路整備の援助を行っているが、一目山線の道路では法面が削られ側溝への転石が多くみられる。作業者の年齢も70歳を超えてきており、毎年側溝を浚らえるのは限界にきている。非常に厳しい現状に対し執行部の方策は。

【建設課長】維持管理はもちろん、災害等があれば当然町道部分については建設課のほうで対策を行っていく。側溝の転石についても把握はしているものの、再度確認し対応できるものは対応していく。

問 復興まちづくり計画策定にあたり、先の震災の検証と新たな課題について問う。

【総務課長】課題については、十項目程度ある。まず警戒態勢の職員の召集問題、震災時の情報発信の一本化の問題、ライブラリーの情報収集、避難所のプライバシーの問題、避難路の照明の問題、路上の駐車の問題、罹災証明の発行、現地調査と作成する職員の育成、仮設住宅の問題等、復興計画と検証を併せて進めていく。

問 積雪で路面凍結した場合、国道に設置される、注意看板を町道にも設置しては。

【建設課長】必要箇所ならば、現場を見た状況で考えるので相談して頂きたい。

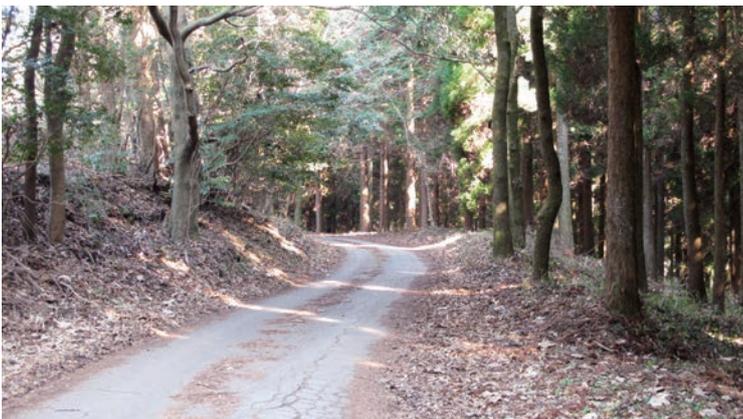
問 浄化槽法にある保守点検と清掃と定期検査は、重複しないのか。設置者は、二重の検査料の負担になつていないのか。

【住民課長】浄化槽法で定められているし、法令上の解釈の違いが

あるので、ご理解頂きたい。

問 道路沿線の路面凍結解消の為、主原因となる木の伐採を補助金等を使って積極的に推進して頂きたい。

【町長】町道の危険木については、原則は伐採・再植樹の禁止と考えている。



陽の当たらない道路



一年の町政総括と接遇教育は

時松 昭弘

【町長】副町長の不祥事の件は、町民の皆さまには多大な心配と迷惑をかけた。開発センター建て替えやゆうステーション周辺整備も進んでいる。区切りとして早めに表明をした。身を粉にして、頑張っていく。

【町長】財政状況がギリギリの状況であるが、予算協議の部分でもあり。しっかり考えて行きたい。

【町長】財政状況がギリギリの状況であるが、予算協議の部分でもあり。しっかり考えて行きたい。

いる。行政職員としてのモラルの向上・接遇の基本教育をやったかどうか。職員各自がスキルアップをして接遇の基本に立ち返ってほしい。

【総務課長】公務員として大事な問題であり、役場は挨拶が悪いと聞かされる。朝礼等で指導を徹底し、公務員としてのモラルを身につけマナー向上を図っていく。指示・伝達をして、指導を徹底して頂きたい。



役場窓口

【産業課長】講習会は有害鳥獣に対する正しい知識を勉強した上で、ソーラー式の電気牧柵で1日24時間、1年365日通電する事で、冬場にもイノシシ・シカに餌を与えないという内容だった。

【産業課長】これまでは、個人で被害防除に取り組んでいたが、集落全体で取り組む事が効果を上げる事に繋がる事が解った。

【産業課長】28集落協定での交付金の使い道としては、農道・水路の維持管理、それに伴う日当メッシュ柵等色々なものを使用されている。

おいしい米を作るのは大変で



鳥獣対策を万全に

穴見 まち子

ある。小国町は水や自然に恵まれている。農家の意欲を削がない為にも、イノシシ・シカの防除をお願いする。

【教育長】心を打たれた発表だった。これからの町づくりを積極的に取り組んでいく子ども達に繋がると感じた。



常時通電中の牧柵



本年度の施政方針から

穴井 帝史

【問】まず、職員育成の強化について聞く。これには「研修の拡充」とあるが、どのような研修を行っているのか。

【総務課長】研修先は市町村研修協議会とNOMAが大半を占めている。内容は、新人研修、管理職の新人課長研修、専門的分野では、法律関係、税、セキュリティ関係、近年は人事評価の研修等メニューは沢山あり、職員に希望を取って研修をしている。

【問】色んな研修があるのはわかるが、公的なものばかりでなく民間企業等で研修させる様な考えはないのか。

【総務課長】現在は、そういう考えはない。

【問】次に、財産管理について聞く。町有財産の中で、「他団体利用町有地については売却も含め」とあるが、今後の方針は。

【町長】大きな方針として、町有地の中で活用されていない部分、また活用されていても団体等が活用している部分がある。12月補

正予算で不動産鑑定の予算を計上し、金額が出れば先方と協議し、年度内には一定の歳入確保の為に、土地の使い道を考えて行く。

【問】次に、地域公共交通について聞く。小国郷ライナーの現状は。

【政策課長】小国郷と大津駅をつなぐ路線で、本年度は10ヶ月間の運行中である。4月から10月までに1046人が利用した。月に150人が利用している計算だ。

【問】この数は当初計画と比較して見ると。

【政策課長】定期運行により、若干利用者は増加したが経費からすると十分な数ではない。

【問】次に、乗合タクシーについて聞く。「委託事業者と利便性を向上する様検討」とあるが、利用者の声を反映してはどうか。

【政策課長】今後の運行の為に、参考にしたい。

是非とも利用者の声を聞き、利用しやすい形での運行を願う。



町民が受診しやすい健診を

児玉 智博

【問】住民の健康を予防で増進し、保険給付を減らす事が肝要だ。小国町の健診受診率目標と実績は。

【福祉課長】国保は平成25年からの5カ年計画では年4%増で29年に60%とする目標だが、結果として年1%程の伸びに止まっている。28年は45.6%。後期高齢者は毎年、概ね1%増を目標としているが、この12年間で年平均2%強の伸びとなっている。28年度は29.4%。

【問】県平均は上回っているが、自ら掲げた目標を達成するためには改善すべき点があると思つ。

【福祉課長】毎年の受診率が60%を越す和水平町は、集団健診と併せて医療機関での個別健診も行っている。町内3機関の他、玉名郡市36、熊本市植木地区40機関で時期をずらして受け付けている。小国町も公立病院や高齢者が受診しやすい送迎付きの医療機関で実施出来ないか。

【福祉課長】これまで医療機関と

そういった協議をした事がない。公立病院も患者の対応で厳しい。医療機関との協議を踏まえて検討したい。

【問】前回、受診対象年齢の引き下げを提案した際、前向きに検討するとの答弁だったが、どのように検討したか。

【福祉課長】予算編成途中で今後、財政部局や町長査定が必要だが、担当部局としては30年度からは18歳以上としたい。



胸腹部検診車



農地の売買と行政のかかわりは

高村 祝次

【町長】小国町の農家、酪農家の大半が借地農業で経営している。現在、後継者がいない理由で基盤整備をした土地から売られているという話がある。実際何件の方が売りに出して、町へ相談にこられたのかを問う。

【町長】土地は民民の売買に基づくものであれば、行政の発言権はないというのが基本であるが、その利用については法律がある。農振農用地の部分については農業委員会が議論がされ、農業をするという部分において許可された案件がある。農業委員会の制度上、農振農用地の部分については町への情報提供があり、土地の利活用についての相談を受けている。制度上許可された案件についても、厳しい条件（報告義務・実績義務）を付して許可しており、今後はしっかりと注視していく。それ以外正式に相談はない。

【町長】今後、畜産農家を含め町民の方々から土地の売買依頼があった時は、農地管理公社を通すな



ファームロード沿いの草地

ど、売り手買い手の利益を図り、小国の農業のためできるだけ町民が利用するような形になるよう町は前向きに努力することを願うところであるが町長の考えを問う。

【町長】現在のところ正式に相談はない。第一に自助努力を期待するものであるが、厳しい現状においては、まず相談していただき、具体的な計画・要望等聞き取りを行った上、協議、検討させていただくことになると考える。

小国町庁舎コミュニティ棟改築工事起工式 平成29年11月6日

■11月6日(月)午前9時30分から、開発センター跡地で小国町庁舎コミュニティ棟改築工事の起工式が開催され、議員全員が参加しました。新しいコミュニティ棟は、来年の12月頃完成予定です。



議員勉強会 平成29年11月9日

■11月9日(木)午後3時から、小国町隣保館で議員勉強会を開催しました。勉強会では小国町の山林原野等の土地の移動に関する情報提供や意見交換が行われました。

町村議会広報研修会 平成29年11月17日

- 11月17日(金)午後1時30分から熊本市の熊本県自治会館で、県内の「議会だより」の制作担当者(広報特別委員会委員)を対象に議会広報研修会が開催されました。研修では、「読む! 資す! 生かす!」熟議型クリニックで現状打破と題し、熊本日新聞社NIE専門委員の越地真一郎氏の講演がありました。広報特別委員会では、今回の研修を「見ていただける紙面」作成の参考にしていきます。



平成29年 第3回 ゆうステーション周辺整備特別委員会 平成29年12月1日

- 12月1日(金)全員協議会終了後に、ゆうステーション周辺整備特別委員会が開催されました。今回は、①「葉味野菜の里 小国」の実施設計について、②「体験型多目的モデルハウス整備」についての審議が行われました。

全員協議会 平成29年12月1、7、12日

- 12月1日(金)午後1時から小国町隣保館で第12回全員協議会が開催され、執行部から12月議会に提案予定の①条例改正についての説明、②一般会計補正予算についての説明、③特別会計補正予算についての説明があり質疑が交わされました。
- 12月7日(木)の定例会(1日目)終了後に、第13回全員協議会が開催されました。執行部から小国町公の施設(学びやの里)指定管理者の募集方法についての説明があり質疑が交わされました。
- 12月12日(火)の定例会(3日目)終了後に、第14回全員協議会が開催されました。執行部から小学校部活動の社会体育への移行についての説明があり質疑が交わされました。



編集後記

平成29年、2017年を振り返りますと、7月に福岡や日田で発生した水害には驚かされました。「線状降水帯」によって降った雨は甚大な被害をもたらしました。5年前の平成24年に阿蘇市や熊本市の大水害も線状降水帯だったのでしょうか。小国町でも昨年は、猛暑から長雨さらには寒波の影響で農産物の出来が良くないそうです。平成30年は、表紙のように清々しく、穏やかな年になってもraitたいと願う今日この頃です。

私こと、昨年の7月には宮原を流れる大川(筑後川)の水が自宅の川沿いの茶園まで増水し、夫婦二人で小国ドームに避難しました。私の記憶では、昭和28年の大水害、平成17年の水害と今回で3回目の出来事。今後、小国町でも充分警戒が必要と感しました。「備えあれば憂いなし」ですね。

(松崎)

【発行責任者】

議長 渡邊 誠次

【広報委員会】

委員長	熊谷 博行
副委員長	穴見まち子
委員	松崎 俊一
委員	穴井 帝史